

Makuhari's Memory

百聞は一見に如かず

令和4年7月上旬、3日間でしたが、管理職のためのリーダーシップ・マネジメント講座を受講しました。

職場内研修で同じような研修を受講したことはありませんが、今年度から課長職となったこともあり、また、全国各地の地方自治体の方のお話を聞けるいい機会だと考え応募しました。コロナ禍で、おそらく情報交換交流会は制限されているだろうと予測しつつも、それでも受講する価値はあるのではないかと、期待と不安を胸に抱きながら研修を待つ日々。

そして実際研修を受講しての感想は、経験と知見に豊富な2名の先生のお話は聞き洩らすことができないほどの充実した内容でした。「決定権は実務家公務員にはない」「私たちの行う行政判断はどちらが正しいかという正否を決めることではなく、どちらがより優れた方法かという優劣比較による選択」であること等、心に残ることが数多くあり、数年ぶりにメモだらけの手帳となりました。

現在の部署は、普段から年間100件以上の行政処分を行い、○×の判断をしています、こ

の文言は事業課に行ったときや有事の判断に際して役立つので、肝に銘じていきます。

感染症対策の観点から交流ができず、代表幹事とは名ばかりとなってしまいました。講座参加者の皆様にはこの場を借りてお詫び申し上げます。

コロナ禍ながらも流石の市町村アカデミーです。今更研修なんてと、躊躇している職員の方、百聞は一見に如かず、案ずるより生むが易し。勇気をもって参加してください。



坂本 直親

茨城県土浦市
農業委員会事務局長
〈受講研修科目〉
管理職のためのリーダーシップ・
マネジメント講座
第36期第1組（令和4年度）

講師、仲間から多くの刺激を受けた充実の5日間！

令和4年7月4日から8日の5日間、「住民との合意形成に向けたファシリテーションの実践」研修を受講しました。

現在、私は今年の4月から広報課で勤務していますが、市民の声を聴く業務の中で、複雑な地域の課題に直面する場面があります。自治会の運営や、地域の高齢化への対応など、市民から寄せられる問合せの中には、行政だけで解決できるとは言えないものが多く含まれます。

今回市町村アカデミーで学ばせていただいた「住民と協働するためのスキル」は、そのような複雑化する社会問題を解決するために、今後必須となる手段のひとつだと教えていただきました。

研修期間は毎日、最先端の事例に携わっている講師の皆様にご講義をしていただき、様々な視点から直接業務の参考になるお話も伺うことができ、大変貴重な機会でした。

自治体職員であれば、住民との合意形成の場というのは多くの所属で経験する場面だと思います。その場面で、理想的な対話を実現するためには、どのような手段を取ればいいのか、グループワーク等を通じながら明るい雰囲気の中で学ぶことができました。

班ごとに行った課題演習では、毎日講義のあと

に具体的な事例を用いて課題解決に向けて検討を行いました。日々議論を交わすうちにメンバー同士の絆が生まれるのを感じました。また、受講生が有志で集まり、普段の業務で感じる課題の共有や、講義で学んだ内容のアウトプットなどの場を設け、積極的に学ぼうとする皆様の姿勢に、刺激を受けることもありました。

最後になりますが、講師、市町村アカデミーの皆様や受講生の皆様、快く送り出してくださった職場の皆様にご感謝いたします。貴重な機会を与えてくださり、ありがとうございました。



熊谷 茜

静岡県静岡市
市長公室広報課広聴係主任主事
〈受講研修科目〉
住民との合意形成に向けたファ
シリテーションの実践
第36期第1組（令和4年度）

Makuhari's Memory

多くのことを学び、仲間を得た5日間

私は、今年から美馬市役所に採用され、例規担当を任されることになったのですが、改め文の作成や用語の使用方法などわからないことが多く、一度基礎から学びたいと思い法令実務A（基礎）を受講しました。

研修では、条文の構造・書式や改正の作法など、普段の業務ではその都度調べていたことを一から網羅的に教えていただいたので、とても勉強になりました。また、講義を受けることで、地方自治の意義・沿革そして今後の展望とそれを踏まえた職員に求められる能力についての理解が深まり、今後の業務においてもこれらを意識しようと思いました。

課題演習では、条例の策定がメインの課題となり、私の班では、夜遅くまで議論しました。普段では一人で行う業務について、複数人で話し合いながら進めるのが、とても新鮮で良い刺激になりました。特に、自分と異なる考え方や、自分にはない視点を持つ方たちと交流することで、自分に必要なことや足りない部分について発見することが

でき、様々な角度で考えることの重要性を学びました。遅くまで議論した甲斐あって発表では、講師の方々から褒めていただいたのがとても嬉しかったです。

5日間という短い期間でしたが、数多くのことを学び、様々な方々と交流することができました。コロナ禍の中、研修を開催していただき、感染対策を講じながらも最大限交流の機会を提供していただいたアカデミーの皆様、講義を行っていただいた講師の皆様、受講生の皆様、研修に送り出していただいた職場の皆様に感謝いたします。



濱口 渉

徳島県美馬市
企画総務部総務課主事
〈受講研修科目〉
法令実務A（基礎）
第36期第2組（令和4年度）

山本五十六の精神で!!

日本全国で新型コロナウイルス感染の第7波到来が危ぶまれる中、令和4年7月11～15日の5日間で行われる「管理職を目指すステップアップ講座」に参加するため、全国から47名の精鋭が市町村アカデミーに集結しました。

豪華な講師陣による研修の内容は、中身の濃いハードなもので、人材育成・人事管理のあり方、行政経営、リスクマネジメント等に関する知識を学びました。結果、人を束ねて動かすには、自分が模範を示すこと。山本五十六の金言「やってみせ 言って聞かせて させてみて 誉めてやらねば 人は動かじ」。原点こそ最先端。強い組織を作るために一番必要なものは、尊敬や尊重。部下であれ、いいところは認めて称える。上司の器がデカければ、部下は黙ってついてくる、という答えを導き出しました。

また、研修のもう一つの目的として、「人脈を広げる」ことがありますが、コロナ禍のため感染リスクを考慮した、各種制限の中での交流となり、積極的な交流をすることができなかったことは、非常に残念でした。

最後になりますが、今回の研修に快く送り出してくれた上司、留守を預かってくれた同僚および部下、色々と手配してくれた研修担当部署の職員、素晴らしい講義をしてくださった講師陣、頼りない幹事を支えてくれた副幹事（さいたま市子ども未来局の高橋さん（写真左）、東京都八王子市の古関さん（写真右）、各班の座長さん、仲良くしてくれた受講生の皆さん、そして、この研修を何の不安もなく受講できるよう支援して下さった市町村アカデミーの岩田教授、越川主査、本当にありがとうございました。



石川 弘志

北海道函館市
市民部国保年金課主査
〈受講研修科目〉
管理職を目指すステップアップ講座
第36期第1組（令和4年度）